

デジタル ボイス

メルカウセリジの現場から

安藤 房子

仕事仲間や友達とはスムーズに会話できるのに、好きな人との会話には躊躇してしまっ……、そんな男性が増えている。

好きな女性と電話で何を話したらいいのか、メールに何を書いたらいいのかわからない。電話やメールをどんなタイミングで、どんな頻度ですればいいのかを教えてください。そういう相談が、よく寄せられるのだ。

たとえば、元の彼女との復縁を希望しているYさんもそうである。

Yさんは、ある大企業の営業マン。三代半ばの男性である。仕事は順調で、社内での信頼も高い様子。男女問わず友達も多いのだが、恋愛となると、どうコミュニケーションをとればいいのか悩んでしまう。

Yさんと元の彼女は、今もときどき会う友達のような関係。Yさんは復縁を望んでいるが、彼女は復縁の気持ち

がない。このためYさんは、これから彼女にどうアプローチすればいいのかと困っているのである。

Yさんは、彼女との現状を、とてもこまかく私に知らせてくれる。その上で、どんなメールを書いたら、どんなタイミングで送ればいいのかとアドバイスをほしがるのである。

アドバイスをほしがるのは、Yさんのように復縁を希望する男性ばかりではない。恋人がいる男性や、既婚者の場合もある。相談に来る彼ら进行分类し

てみると、次のようになる。

①素直な性格。両親との関係は良好で、特に母親から非常にかわいがられて育った人が多い。協調性があり、周りからも好かれるタイプ。

②高学歴または手に職を持つ人。地を足をつけてしっかり生きていくタイプ。

③友人が多い、リーダータイプ。周りからは頼れる存在と思われており、仲間内のリーダー的存在であることも。が、実はとても繊細で、引っ込み

好きな人と話せない そんな男性に共通点

思案な一面を持っている。

④収入が安定しており、人並み以上の生活も実現できている。知的レベルが高く、恋愛以外のコミュニケーションは比較的良好。コミュニケーションスキルも高く、いったいなぜこの男性たちが

……と思うような男性が恋愛となることが、以前は不思議だった。でも、複数の相談を受けるうちに、共通点があることに気づいた。

彼らの多くは、親(特に母親)から愛されるあまり、無関状態のまま育ち、その結果、好きな女性とのコミュニケーションができずにいる気がするのだ。母親にしてみたら、たいせつなわが子を立派に育てたくて必死だったのだろう。小さいころには悪い友達とくっつかめように気を配り、いい学校をいい成績で卒業できるように手をかけてきた。その結果、息子はそれなりの学校を出て、それなりの仕事に就いている。友人は多いが、実は本音を話すのがとても苦手。周囲に嫌われることがとても怖く、自分の失敗やかっこ悪いところを見られることを極端に恐れる。

このような男性が自分の意思で恋愛をし、コミュニケーションをしていくには、まずは母親から自立することが大事なのだろう。母親も、息子を放っておく勇氣を持つことだ。

と、口で言うのは簡単。それを実行できない。べつたり親子が意外と多い気がする。

(恋愛カウンセラー・作家、大江町出身)
毎月第一月曜日に掲載します

